

授業概要 (シラバス)

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	GS202	分類	講義科目
授業科目名	プロトコール	英文授業科目名	Protocols
年度	2025年度	年次	昼間部 2年 <small>ホテル科・ブライダル科・ホテルSNS科</small>
開講学期	通年	授業の方法	講義科目
単位数	2単位	年間授業時間数	28.8時間
科目区分	一般教育科目	授業コマ数	24コマ
担当教員名	佐藤外美子	実務経験なし	備考
経歴			

■授業・科目情報

学習目標	国際的な視野を持つグローバルな人材に必要なプロトコールの基本を学ぶ。 国内外の情勢、異文化等の多様な価値観の中で必要とされる国際マナーを理解し身につける。 プロトコールに基づく好感度の高い言葉遣いや所作、振る舞いを身につける。		
教科書			
授業計画	回数	内容	
	1	授業紹介・オリエンテーション・プロトコールを学ぶ意義	
	2	第1章 プロトコールとは何か プロトコールの基本	
	3	第1章 プロトコールの歴史と現在	
	4	第2章 国の象徴の扱い方	
	5	第2章 国旗の意味・基礎知識・掲揚の注意点	
	6	第3章 席次と敬称 序列の重要性	
	7	第3章 敬称と呼称の決まり	
	8	第4章 正装と勲章 正装の種類と着用する時の決まり	
	9	第4章 勲章や褒章などの栄典について	
	10	第5章 招待状・書状	
	11	第5章 正式な招待状の書き方	
	12	まとめ/試験	
	13	第6章 所作・振る舞い 人と人、国と国とで交わされている敬礼について	
	14	第6章 所作・振る舞い 国と国との敬礼について	
	15	第7章 会食のプロトコール 会食の種類と料理の種類	
	16	第7章 会食のプロトコール 会食の準備と席次、テーブルプラン	
	17	第8章 プロトコールの実務と課題 国際行事の諸準備のポイント	
	18	第8章 プロトコールの実務と課題 国際交流の新たな課題	
	19	第9章 ビジネスシーンでの応用プロトコールとビジネスマナー ビジネスマナーのポイント	
	20	第9章 ビジネスシーンでの応用プロトコールとビジネスマナー 自己紹介と名刺交換	
	21	第10章 異文化理解の基礎知識 世界の宗教とマナー	
	22	第10章 異文化理解の基礎知識 世界の言語とマナー	
	23	プロトコールを1年間学んで まとめとディスカッション	
	24	まとめ/試験	
授業の進め方	テキスト「現代プロトコールの基礎知識」に沿って授業を進める。 講義内容のポイントをPPT・ワークシートなどを活用して整理し、理解度を高めると同時に2～3回に1回小テストを実施し知識を確実なものにする。丁寧な言葉遣い・所作・振る舞いを皆で意識し、好感度UPに繋げる。 講義形式+理解度確認テストを前期・後期で行う。		
試験の実施方法	前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点 = 50% (10ポイント) ②出席率 = 50% (10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目	ビジネス実務		
参考書	『マナー・プロトコールの基礎知識』日本マナー・プロトコール協会著・発行(2022年5月1日発行)		
学生へのメッセージ			